

プラネタリウム館 16mドーム 200席

一般投影 (開始時刻) 投影時間 約45分間

火～金	(団体の予約に応じて)					16:00
土・日・祝日・夏休み	10:30	11:30	13:30	14:30	16:00	

- 投影中の入館、館内での飲食はできません。
- 団体でご利用の場合は事前にお問い合わせください。

プラネくとあそぼう! 幼児～低学年向けの投影

「ちきゅうをさがせ!」
6/11(日)、7/9(日)、8/13(日)
各日 ①10:30～ ②11:30～



星空への招待 プラネタリウムの星空の下で…

「星野道夫の世界」
朗読:フリーナレーター 高橋 賢市氏
6/16(金) 19:00～20:30



七夕星空ライブ☆アケアマリンコンサート

8/7(月)・8/8(火) 19:00～20:30
星や自然を奏でる音楽ユニット「アケアマリン」がやってくる!

現代天文学への招待 30円

**「多波長で探る宇宙
:光と闇の銀河進化史」**
講師:東北大学理学部 竹内 努氏
7/8(土) 13:00～15:00
最新の天文の話題をわかりやすくご紹介します。

夏の親子天文教室 無料

星空観察に便利な道具を作ろう!
7/16(日) 10:00～12:00
対象:小学4～6年生と保護者20組
申込:7/6(木) 9:00～
電話 216-4463にて先着順で受付

天文台 41cm反射望遠鏡 他

プラネタリウム投影開始時刻の20分前から天文台にある天体望遠鏡を案内します。

星を見る会 19:30～21:00 晴天時

- 6/2(金)…月と三大惑星を見よう
- 6/16(金)…火星と土星の接近を見よう
- 7/7(金)…月と木星を見よう
- 7/21(金)…木星と夏の星たち
- 8/4(金)…月と七夕の星たち
- 8/6(日)～8(火)…夏の大三角
- 8/18(金)…夏の星雲・星団めぐり

天文の話 30円

「夏休みの星空」 7/21(金) 18:30～20:00
夏休みに楽しめる星座や天体現象などを詳しく紹介します。

天文ボランティア養成講座

8/26(土)～3/10(土) 全8回
主に第4土曜 各日 15:00～17:00 ※17:00～ 課外講座あり
対象:一般成人30人 教材費:2,500円
申込:7/15(土) 9:00～電話 216-4463にて先着順で受付

ベガ号による星を見る会 無料

天文車「ベガ号」の口径20cm望遠鏡で観望します。
6/23(金)、8/25(金) 勾当台公園
7/25(火) 泉ヶ岳大駐車場
各日 19:00～21:00 晴天時



★案内図



JR仙台駅西口バスプール9番より、市営バス「青葉通經由動物公園循環」「宮教大」「青葉台」「成田山」に乗車、「大町西公園前」下車、徒歩3分。
*若干の駐車が可能

★観覧料

	プラネタリウム	展示室・観望会
一般・大学生	300円(250円)	30円(20円)
高校生	200円(160円)	
小中学生・幼児	100円(80円)	

- ()内の金額は30名以上の団体料金
- 次のバスポートの対象施設
(どこでもバスポート・A29バスポート・ゆうゆうバスポート)
(大崎ゆめっこバスポート・グリーンバスポート)
(ジュニアバスポート・フリーバスポート)

★開館時間 9:00～16:50 (第1・3金曜は 21:00まで)

★休館日など

	6月					7月					8月				
	日	月	火	水	木	日	月	火	水	木	日	月	火	水	木
休館日	*	*	*	*	1	2	3	*	*	*	*	*	1	2	3
プラネタリウムのみ休み	4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	9
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	*	25	26	27	28	29	27	28	29

仙台市天文台 〒980-0823 仙台市青葉区桜ヶ岡公園1-1 北緯38°15'33" 東経140°51'44"
Tel…022-222-6694 E-mail…voice@astro.sendai-c.ed.jp
Fax…022-216-4464 URL…http://www.astro.sendai-c.ed.jp

Planetarium

プラネタリウム

No.150 2006 夏



「こと座」

撮影地:仙台市青葉区下愛子地内

仙台市天文台

Sendai Astronomical Observatory

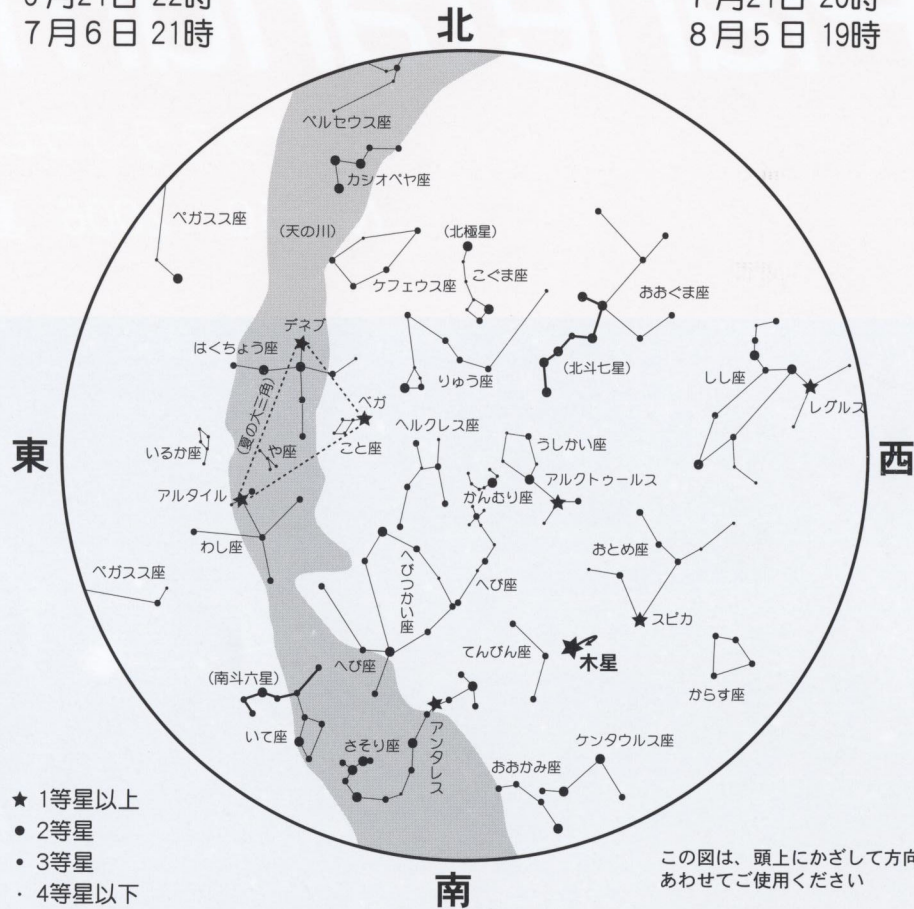


古紙配合率100%再生紙を使用しています

夏の星空

6月21日 22時
7月6日 21時

7月21日 20時
8月5日 19時



- ★ 1等星以上
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下

この図は、頭上にかざして方向をあわせてご使用ください

6月から8月に見られる主な天文現象

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 6/26(月) ●新月 | 7/31(月) セツ(旧暦) |
| 7/25(火) ●新月 | 8/13(日) ベルセウス座流星群が極大 |
| 7/29(土) みずがめ座δ流星群が極大 | 8/24(木) ●新月 |
| 7/30(日) やぎ座流星群が極大 | |

～天の川を見よう！～

夏は一年中で最も雄大で明るい「天の川」が見られる季節です。天の川は私たちの太陽系を含む「天の川銀河」を中から見た様子で、夏に見られる「いて座」付近が「天の川銀河」の中心方向にあたり、最も明るい場所です。

夏休みなど、街明かりの少ない山や海など出かけた先で夜空を眺め、家の近くと天の川の見え方の違いを比べてみるのもよいでしょう。ただし、明るい月が出ていると、月の光に邪魔されて天の川が見つけづらくなるため、新月の前後がおすすめです。

また、肉眼では淡い雲の帯のように見える天の川周辺を双眼鏡で覗いてみると、たくさんの星や星雲・星団などを見つけることができます。

☆ プラネタリウム投影案内 ☆

★ 一般撮影

『夜空は自然界のカレンダー』 6/1(木)～6/28(水)

一日、一月、一年… 現在、私たちが使っている暦や時の長さは、空に見えるさまざまな天体の動きから決められています。ですから、時計やカレンダーがなくても、夜空を眺めれば時間の経過や季節を知ることができました。

時計がなかった古代の人々は、このことを上手に利用し、農作業や漁に役立て、豊かな生活を築きあげてきました。つまり、夜空は生活を支えるための大切なカレンダーとなっていたのです。

『宇宙ノオクリモノ』

7/1(土)～8/31(木)

私たちが住んでいる生命あふれる水の惑星、地球。

この星から見上げる空は、いつの時代も私たちの心を捉えて放すことはありません。大空を東から西へと巡る太陽。太陽が沈み夜になると現れる無数の星々…。どんなに手を伸ばしても決して届くことのない宇宙を思わずにいられないのは、私たちがかつてそこにあった星の材料から生まれたからでしょうか。

星の彼方へ、宇宙の彼方へ、思いを馳せてみませんか？

★ プラネくんとあそぼう！（幼児～低学年向けの投影）

『ちきゅうをさがせ！』

地球は、太陽という星のまわりをまわっている惑星だよ。広い宇宙のたくさんの星の中には、惑星のありそうな星が170個くらい見つかっているんだって。もしかしたら、その中には生きものが住んでいる星があるかもしれないよね。そして、もしかしたら、地球をめざして旅をしているかもしれない！

イラスト：小金澤 文彦 テーマ音楽：アクアマリン 竹中 洋子
声の出演：大坂ともお・高橋賢市・半沢かすみ・伊藤富士子



※ 平日の午前中、幼稚園や保育所などの予約にあわせ投影も行います。席に余裕があれば個人でもご利用いただけます。詳しくは、お問い合わせください。

表紙の天体

今から19年前、特殊処理をしたフィルムを多用して、星座写真の面白さがわかってきたころだった。どのような写真でもそうだが、構図が大切だ。天頂付近で最高の撮影条件となっている夏の代表的な星座「こと座」にカメラを向けてみた。左側には、天の川だとわかるように、その姿をちよつとだけ入れ込んでみた。右側の輝星は、織姫星で有名な1等星のベガ。フィルムの特性で、明るい星が大きくなっているのが好きだ！ しかし、今では、そのフィルムも手に入らなくなってしまった。

デジタルカメラを多用するこの頃、昔のような感動はなくなっている。時代の流れで仕方ないが、昔のようにハッとする感動がほしい。

(写真・文 小石川 正弘)